

[アルミバンシリーズ]

Coop Van

コープバン取扱説明書

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 取扱説明書は必ず車の中に大切に保管してください。
- 本車両を譲られる場合、つぎの使用者のために本取扱説明書を必ず車両と共にお渡しください。
- トラックシャシの一般的な取扱いについては、シャシメーカー発行の取扱説明書(別冊)をお読みください。

株式会社 **パブコ**

はじめに

このたびはパプコの「コープバン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は「コープバン」に関する各部の正しい取扱い方法と点検・手入れ等について説明してあります。
なお、仕様・オプションなどの違いにより内容が一部異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

○**取扱説明書は必ずお読みください。**
あなたの愛車を常に快調に保ち、安全に末長くご使用いただくためにお使いになる前によくお読みください。なお、車両本体（シャシ）について及びリフト等の架装装置がある場合については、それぞれの取扱説明書も併せてお読みください。

○**正しい取扱い方について**
万一、取扱いを誤ると故障や事故の原因になります。
本書に従った正しい取扱いで安全作業につとめてください。
本書記載の使用方法及び点検・手入れを守らない場合は、保証期間中であっても保証の適用外となりますので十分ご注意ください。

○**使用目的について**
「コープバン」は、荷物室で荷物を運ぶ目的で作られたものです。
この目的以外の使用を禁止します。
また、機能維持のため改造変更を禁じます。もし必要が生じた場合は、販売店または弊社迄ご連絡ください。
独自の改造により生じた故障、事故などについては一切責任を負いません。

警告サインについて

本書及び製品本体に貼付した警告ラベルには、次のマークを使用しています。
これらのマークのついた項目ならびに警告ラベルは、安全上特に重要なものや参考にして頂きたい情報ですのでよくお読みください。

-  **危険**

：死亡事故または重傷に至る切迫した危険
-  **警告**

：死亡事故または重傷を負う可能性のある危険
-  **注意**

：軽傷及び物的損傷の可能性のある危険
-  **参考**

：知っておくと得な情報、誤りやすいミスに関する注意

※仕様の変更及びお客様の個別仕様により、本書の内容と一致しない場合がございますのであらかじめご了承ください。

目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全にお使いいただくために	2
2.1 取扱い上の禁止事項	2
2.2 取扱い上の注意事項	6
3. ドアの開閉操作について	12
3.1 ハネ上げドア+アオリ	12
3.2 2枚観音ドア	14
3.3 3枚観音ドア	15
4. 緊締装置について	16
4.1 ラッシングレール (オプション)	16
4.2 ラッシングベルト (オプション)	16
5. 電装品について	17
5.1 ランプ類	17
5.2 非常警報装置 (オプション)	19
5.3 ドア開放警告灯 (オプション)	20
5.4 バックアイカメラ&モニター (オプション)	20
6. 付属品・装備品について	21
6.1 リヤステップ	21
6.2 ベンチレーター (オプション)	21
6.3 車輪止め (オプション)	21
6.4 90° ストッパー (オプション)	22
7. 点検・手入れについて	23
7.1 点検・手入れ時の注意	23
7.2 日常 (運行前) 点検・定期点検	23
7.3 定期点検要領	24
7.4 法定速度	28
7.5 ランプの交換	28
7.6 消耗部品	29
7.7 定期交換部品	29
7.8 各部の給脂	30
7.9 車の手入れ	31

1. 各部の名称

ハネ上げドア+アオリ仕様

●車両後側面 (ドア閉)

※アオリストッパー (内) がマグネット式の場合

●車両後面 (ドア開)

●観音ドア仕様 (2枚)

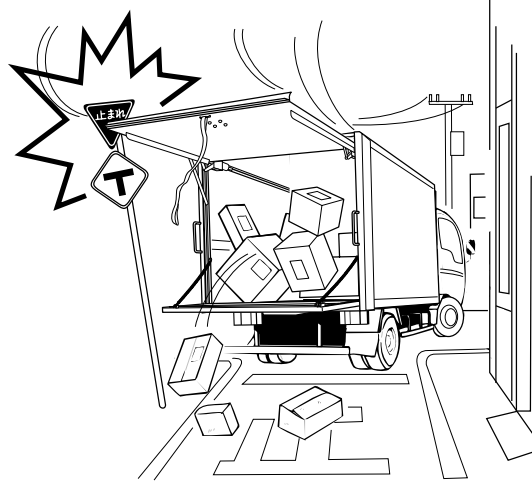
●車両後面 (ドア閉)

2. 安全にお使いいただくために

2.1 取扱い上の禁止事項

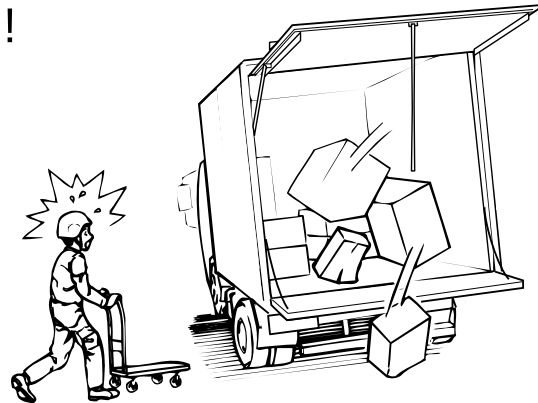
⚠ 危険 リヤドアを開けたまま走行してはいけない！

- ドアを開いたまま走行しないでください。
開いたまま走行すると、ドアを損傷させる原因となるばかりか、荷物が落ちたり、通行人にドアが当たったり、事故を発生させる原因ともなり大変危険です。



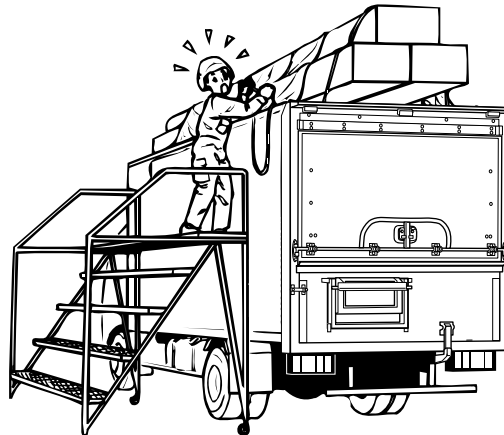
⚠ 警告 不整地・傾斜地での荷物の積み降ろしをしてはいけない！

- 不整地・傾斜地での荷物の積み降ろしはしないでください。荷物が崩れ落ちる危険があります。



⚠ 警告 屋根に乗ったり、荷物を積まないで！

- 屋根の上には、絶対に乗らないでください。
転落により、重大な傷害を負う恐れがあります。
- 屋根に荷物を積まないでください。
荷物を積む構造にはなっていません。



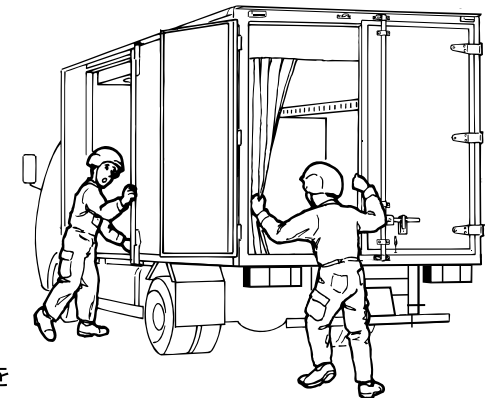
⚠ 警告 荷室内に人を乗せて走行してはいけない！

- 荷室内に人を乗せての走行は、絶対にしないでください。
車の発進・停止による転倒や荷崩れにより重大な傷害を負う恐れがあります。

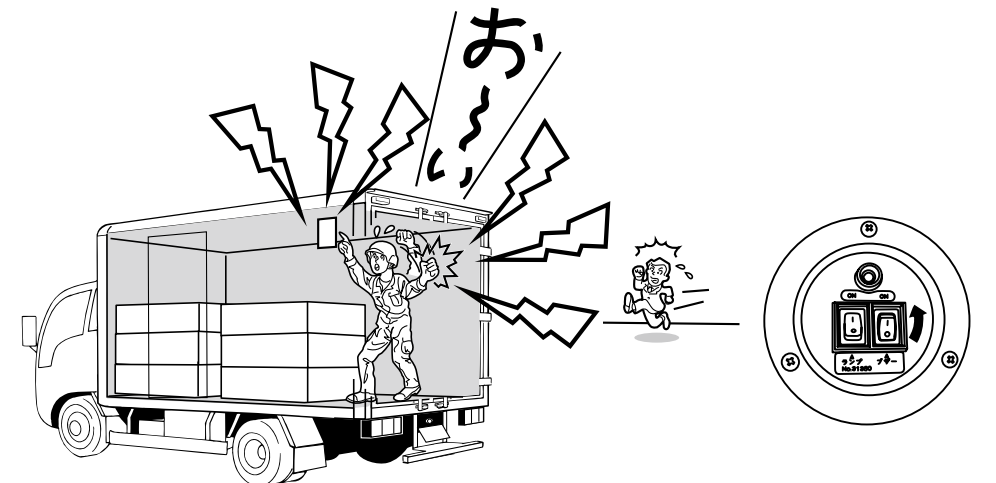


⚠ 警告 荷室内に人を閉じ込めないよう、細心の注意を！

- ドアを閉じる時は、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。
万一、閉じ込めてしまうと大変危険です。

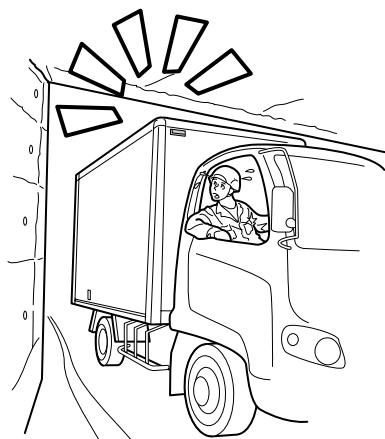


- 荷室内に閉じ込められてしまった時は、大声を出したり、壁を叩いたりして外部へ知らせてください。
- 非常ブザー付き車は、非常ブザースイッチを押して、外に知らせてください。



⚠ 警告 キャブとボデーの段差に注意！

- 車両の全高及び全幅を確認し、トンネルや陸橋等との接触に注意してください。ボデーがぶつくと大変危険です。



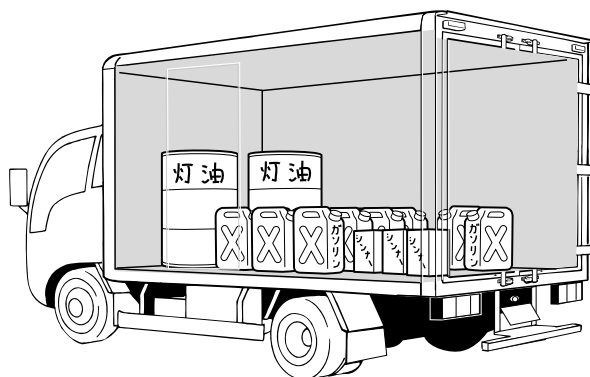
⚠ 警告 フォークリフトの乗り入れ禁止！

- フォークリフトを乗り入れないでください。床が抜け落ちる恐れがあります。



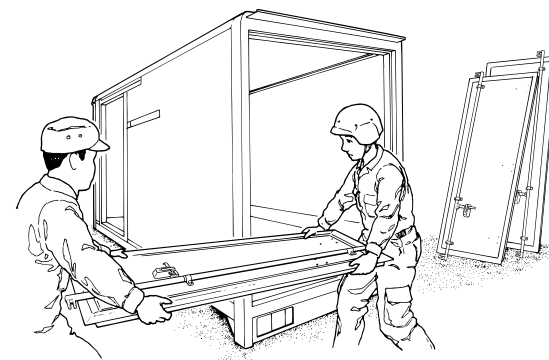
⚠ 警告 危険物を積まないで！

- 荷室内に、揮発性、引火性のあるもの（ガソリン・シンナー等）を積まないでください。爆発や火災の原因となり、大変危険です。



⚠ 警告 ボデーを廃棄する場合は、ドアを外さなくてはならない！

- ボデーを廃棄する時は、必ずドアを外してください。ボデー内に人が入って事故が発生する恐れがあります。

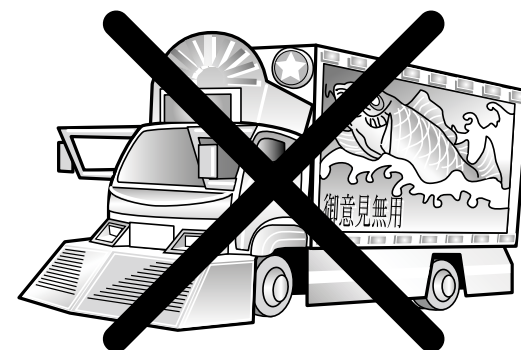


⚠ 警告 違法改造をしないで！

- 登録後の改造は、絶対に行わないでください。車の性能や機能に適さない部品を取り付けると、故障や重大な事故の原因となります。

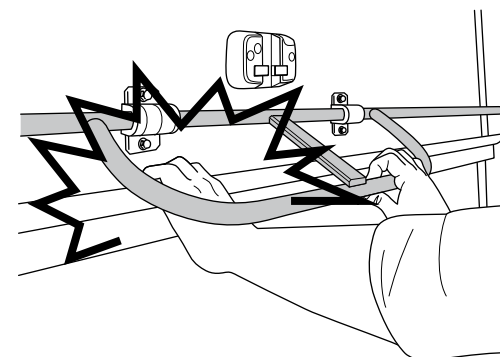
例

- ① 灯具の増設や交換等
車幅灯・テールランプ・回転灯等
- ② 届出のない2次工作
燃料タンク・床上張り・導風板
テールゲートリフター等



⚠ 警告 ロックハンドル開閉時に手のはさみ込みに注意を！

- ドアを開け閉めするときは、手や指をはさまないよう十分注意してください。
- ドア本体と開閉ハンドルとの間に添え手をしていないと、はさまれる恐れがあります。



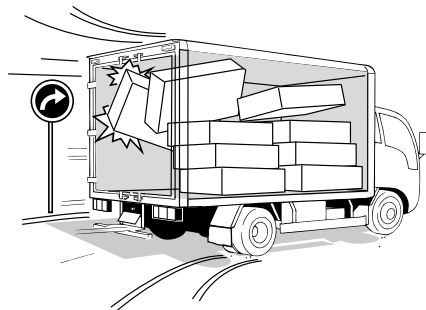
2.2 取扱い上の注意事項

⚠ 注意 荷物は正しく積んでください！

- 荷物はバランスよく積載してください。
- 最大積載量を超えた積載はしないでください。
過積載は法律で禁止されているだけでなく、ボデーの各部に無理な力がかかり、ボデーの寿命を縮めたり思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 積荷は緊締装置などを使用して、しっかりと固定してください。

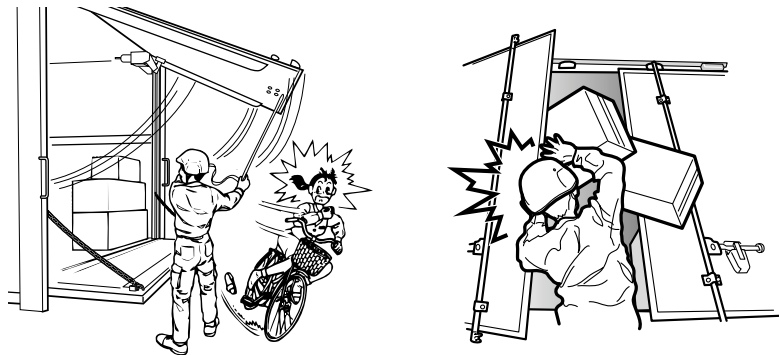
🔍 参考

- 工具箱、ラッシングベルト、ラッシングビーム等は積載物です。最大積載量を超えないように注意してください。



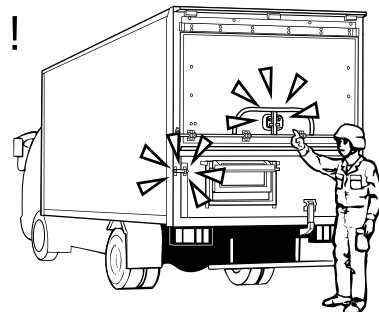
⚠ 注意 ドアの開閉時には、周囲の確認を！

- ドアを開閉する時は、周囲の障害物や歩行者、他の交通車両に十分注意してください。
確認せずに操作すると、ドアが損傷したり、思わぬ事故の原因となります。
- ドアを開ける時、荷崩れしていると危険です。
ハンドルを回しロックを解除した時に、中から押されるような手応えがないことを確認してからドアを開いてください。



⚠ 注意 車から離れる時は必ず施錠を！

- 車から離れる時は、盗難、いたずら防止、思わぬ事故を防ぐために、必ず全てのドアを施錠してください。



⚠ 注意 リヤドアを開けたら、必ず固定を！

- リヤドアを開けたら、必ずドアを固定してください。
固定をしないとドアやボデーが損傷したり、思わぬ事故の原因となります。

ハネ上げドアの場合

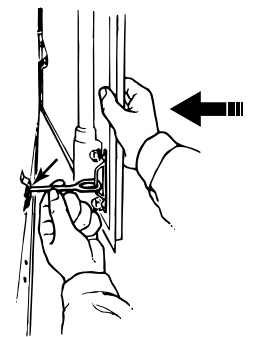


ピンが確実に穴に差し込まれたことを確認してください。

- 正しく固定されていないと、ドアが風で急に閉じてはさまれたり、ケガをする恐れがあります。

観音ドアの場合

- 風の強い時（5m/秒以上）は危険ですので、必ずドアチェッカーにてドアを固定してください。



ドアチェッカー

⚠ 注意 アオリの開閉時には周囲の確認を！

- アオリを完全に開くまでは、必ず手を添えて、静かに開いてください。アオリの角に当たってケガをする恐れがあります。
- アオリの下に子供が入らないように注意してください。



⚠ 注意 アオリ使用時には必ずチェーンを掛けて！

- アオリ使用時には、必ずチェーンを掛けてください。登ったときにアオリが傾いて転倒する恐れがあります。
- アオリに登る時はチェーンに手を掛けしないでください。

チェーン



⚠ 注意 アオリから飛び降りないで！

- アオリから降りる時は、昇降用ステップを使用してください。飛び降りるとケガをする恐れがあります。

昇降用ステップ
(オプション)



⚠ 注意 プラットホームに登る時は、足を滑らせないように注意！

- プラットホームに登る時には昇降用取手と昇降用サイドステップを使用してください。無理な姿勢で登ると危険です。

昇降用取手

昇降用サイドステップ



⚠ 注意 昇降用ステップを格納する時、指はさみに注意！

- ステップは、アオリが水平状態の時に、手で押し込んで格納してください。ステップに指を掛けながら格納すると、指をはさむ恐れがあり危険です。



⚠ 注意 走行前にはドア・アオリが閉まっていることを必ず確認！

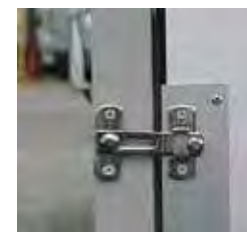
- カムがキーパーに確実に収まっていること、およびアオリストッパーが掛かっていることを確認してください。外れている状態では、走行中にドアが開き事故を起こす恐れがあります。



カム&キーパー



ドア開閉ハンドル



アオリストッパー（外）

※アオリストッパー(内)がフック式の場合は未取付

⚠ 注意 台車ストッパーは必ず掛けて！

- 台車を格納する場合は、必ず台車の手押しレバーをたたんで格納してください。正しく格納しないと、台車が落下する恐れがあります。



貨車式



落とし錠式



スプリング式



ベルト式

⚠ 注意 走行前には周囲の確認を！



- 走行前には車のまわりに人がいないかどうか確認してください。

子供のもぐり込み防止サイドガード
(オプション)

⚠ 注意 ドアから出入りする時は、頭をぶつけないように！

- 作業灯が室内に出ていますので、頭をぶつけないように注意してください。



作業灯（オプション）

⚠ 注意 側面吊り下げ棚には重い荷物を載せないで！

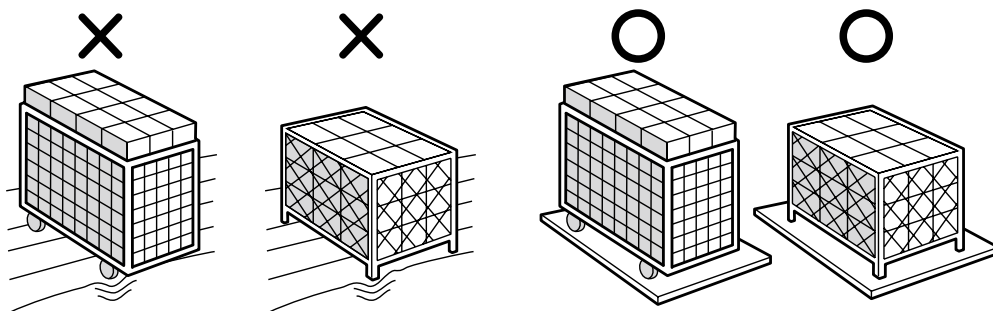


側面吊り下げ棚（オプション）

- 合計重量が 15 kg 以上になる荷物は載せないでください。重量オーバーにより、棚が落下する恐れがあります。

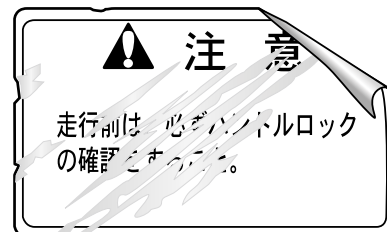
⚠ 注意 床に集中荷重をかけないで！

- 4本足パレットやロール紙等、床との接地面積が小さく重い荷物は、積荷に応じた剛性のある面材を敷くなどして、局所集中荷重の分散を図ってください。



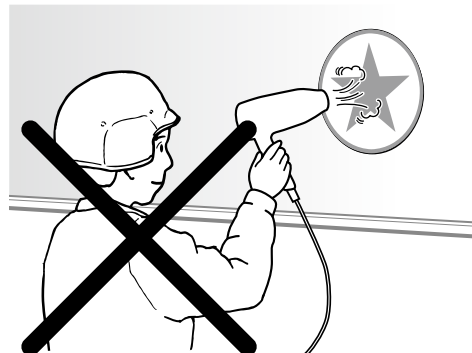
⚠ 注意 コーションプレートの整備！

- 読みにくくなったり、はがれてしまったコーションプレートは、すみやかに新しいプレートと交換してください。



⚠ 注意 パネルの破損に注意！

- サンドイッチパネルタイプの外板及びドアパネルは、表面温度の上昇によりパネルを破損させる恐れがありますので、70℃以上の高温にさらさないよう注意してください。

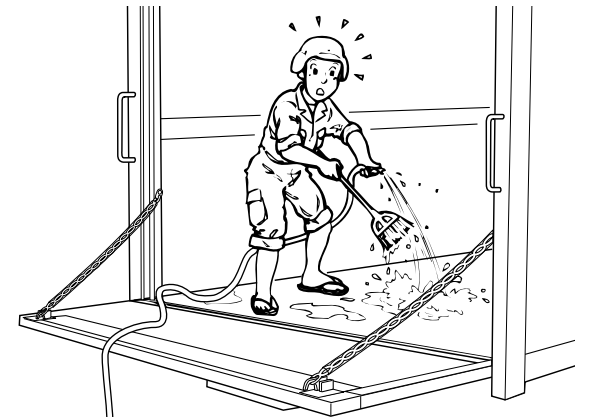


⚠ 注意 夏季炎天下での直射日光に注意！

- サンドイッチパネルタイプの外板及びドアパネルへの広範囲の暗色（黒色等）塗装及びマーキングは、夏季炎天下において表面温度の上昇によりパネルを変形させる恐れがありますので、駐車時には直射日光を遮る等の対応処置を行ってください。

⚠ 注意 室内の水洗いをしてはいけない！

- コープバンは高い水密性を有していますので、室内の水洗いをを行うと、水が溜まり、錆、木材の反りがおきます。

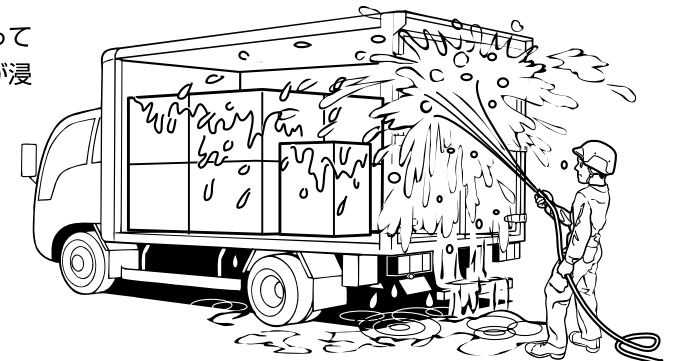


⚠ 注意 水濡れ荷物を積み込んではいけない！

- 防水対策が施されていない室内へ濡れた荷物の積載を行わないで下さい。床の汚損、そり、割れが発生する恐れがあります。また、水分を多く含む荷物を積載すると、室内に結露が発生し、積荷や床面を濡らす原因となります。

⚠ 注意 洗車するときは！

- 洗車は、荷物を積んでいないときに行ってください。水圧によってボデー内に水が浸入し、積荷が濡れる恐れがあります。



⚠ 注意 高圧洗車機使用時の注意！

- ガスケットによる防水処理部（ドア周り、アオリ周り）を高圧で洗車することを禁止します。

3. ドアの開閉操作について

リヤドアを開閉する時は、下記事項をふまえ手順に従って操作してください。

⚠ 警告

- ドアを閉じる時は、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。万一、閉じ込めてしまうと大変危険です。

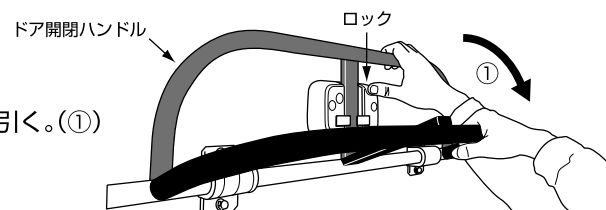
⚠ 注意

- 風の強い時やドアを大きく開ける時は、周囲の障害物や歩行者、他の交通車両に十分注意してください。
- 荷物を積んでいる時は、荷崩れしていないことを確認してからドアを開いてください。
- リヤドアを開けたら、必ずドアを固定してください。

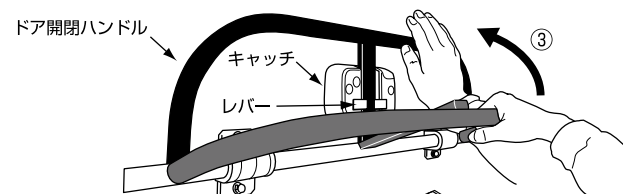
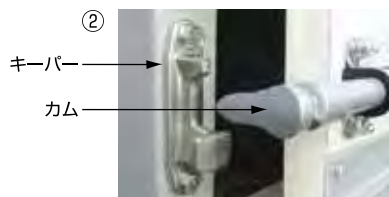
3.1 ハネ上げドア+アオリ

開け方

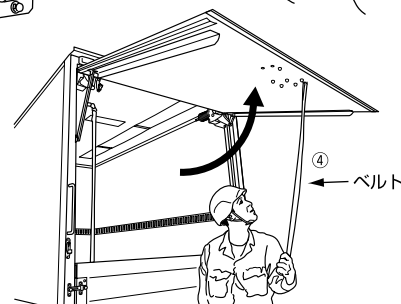
(1) ロックを解除して、ハンドルを手前に引く。(①)



(2) カムがキーパーから離れたら、ハンドルをキャッチに収める。
ハンドルがレバーに完全に掛かるまで奥に押す。(②→③)



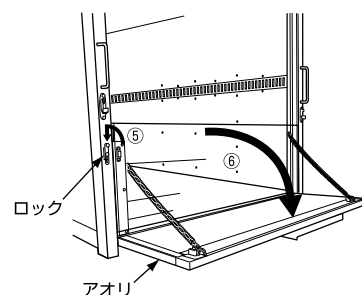
(3) ベルトを持ち、ゆっくりとハネ上げドアを開ける。
(①→④の順序)



(4) アオリのロックを解除して、アオリを開く。
(⑤→⑥の順序)

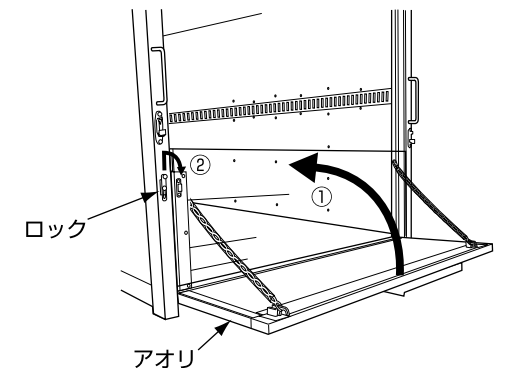
⚠ 注意

- アオリを完全に開くまでは、必ず手を添えて、静かに開けてください。



閉め方

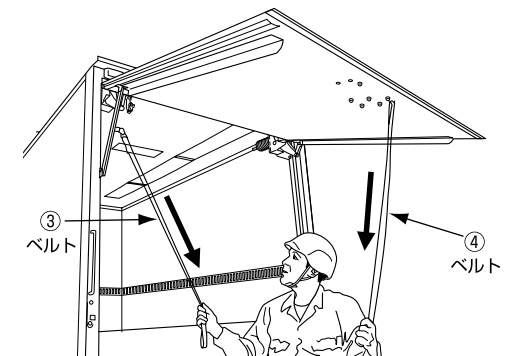
(1) アオリを閉じてロックする。
(①→②の順序)



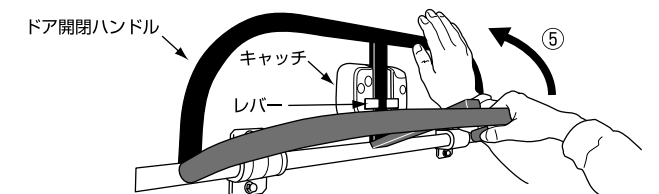
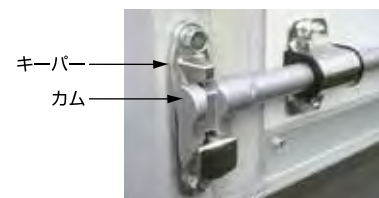
(2) ③のベルトを手前に引き、ロックを解除する。
④のベルトを下に引いて、ハネ上げドアを閉める。

⚠ 注意

- ドアやロックを傷める場合がありますので、必ず、先に③のベルトを手前に引いてロックを解除してから④のベルトを下に引いてハネ上げドアを閉めて下さい。
- ドアを閉めるときは、周囲に十分注意してください。
- はじめは開く力（反力）が働きますが、途中から閉める力が働きますので、必ず手を添えて静かに閉めてください。



(3) ハネ上げドアを下ろしたら、ハンドルを操作し、カムをキーパーに収める。
ハンドルがレバーに完全に掛かるまで奥に押す。(⑤)

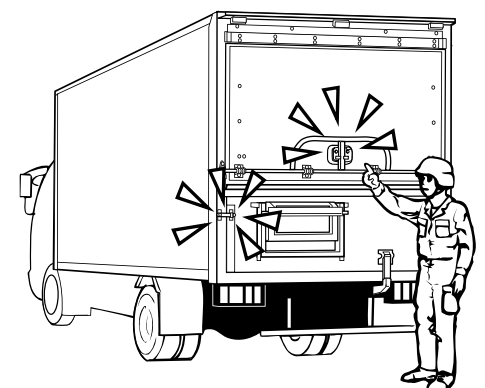


⚠ 注意

- カムがキーパーに確実に収まっていることを確認してください。外れている状態では、走行中にドアが開き事故を起こす恐れがあります。

⚠ 警告

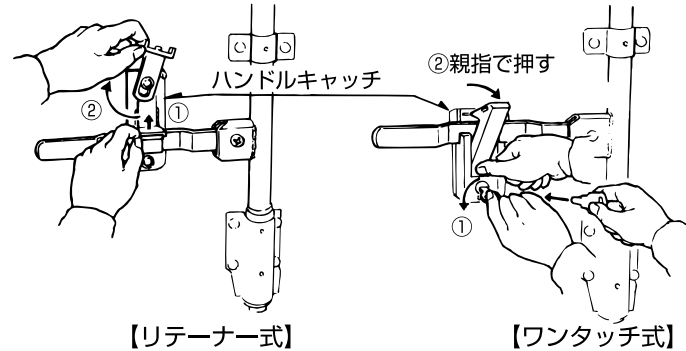
- ロックする前に荷室内に人がいないことを確認してください。万一、閉じ込めてしまうと大変危険です。



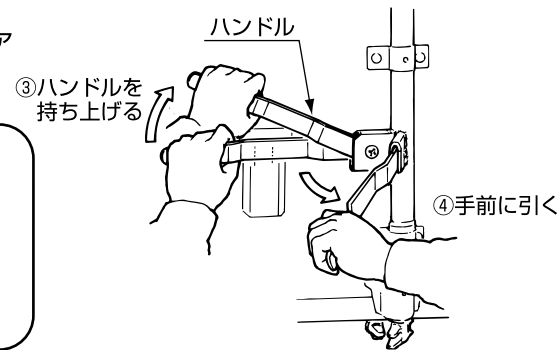
3.2 2枚観音ドア

開け方

(1) ハンドルキャッチのロックを解除する。(①→②の順序)



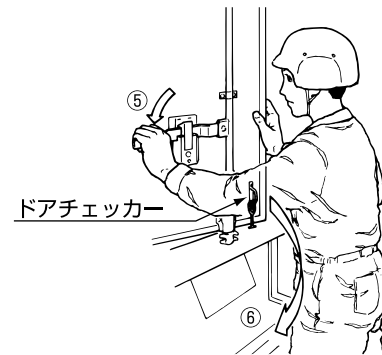
(2) ハンドルを持ち上げて、手前に引いてドアを開ける。(③→④の順序)



参考

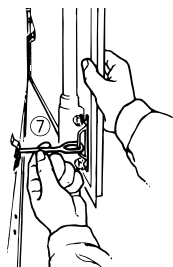
- ワンタッチロックのツメにハンドルが乗った状態でフック下部を押すと、重い場合があります。ハンドルを持ち上げぎみにすると楽に操作できます。

(3) ハンドルをキャッチに戻してからドアを開く。
ドアチェッカー又は、90°ストッパーでドアを固定する。(⑤→⑥→⑦の順序)



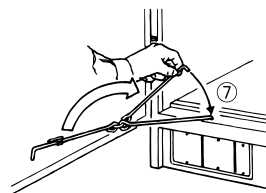
注意

- ドアハンドルは必ずハンドルキャッチに戻してください。ドアを全開にした時、ハンドルで側面パネル等を損傷する恐れがあります。



【ドアチェッカー】(標準)

- ドアをいっぱい開いて、側面のチェッカー受けにドアチェッカーを掛けます。



【90°ストッパー】(オプション)

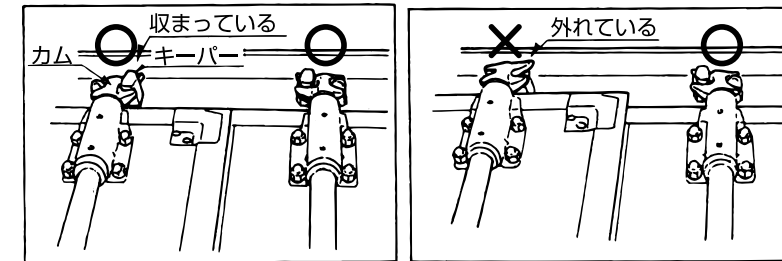
- ドア内側のホルダーに収められている90°ストッパーを外し、ドアフレームの受け穴に差し込んで固定します。

※その他の90°ストッパーについては、P.22を参照してください。

閉め方

開け方の逆手順で行います。

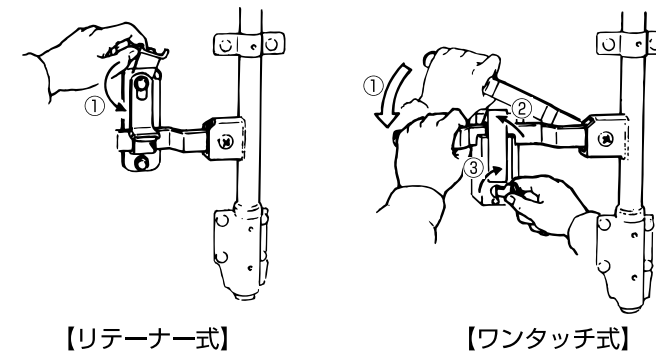
- (1) ドアチェッカー又は、90°ストッパーを外してドアを閉める。
- (2) ハンドルを操作して、カムをキーパーに収める。



注意

- カムがキーパーに確実に収まっていることを確認してください。外れている状態では、走行中にドアが開き事故を起こす恐れがあります。

(3) ハンドルをハンドルキャッチに戻して、ロックをする。



警告

- ロックする前に荷室内に人がいないことを確認してください。万一、閉じ込めてしまうと大変危険です。

3.3 3枚観音ドア

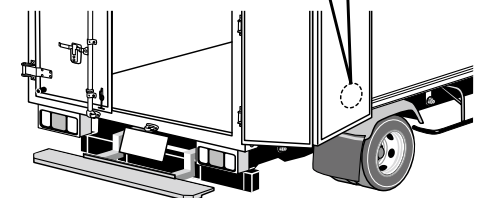
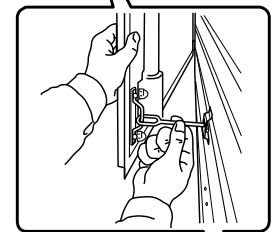
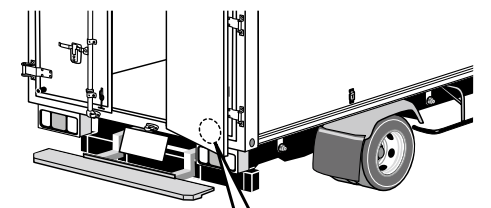
※詳しいドアの開閉操作は、2枚観音ドアを参照してください。

開け方

- (1) 3枚観音ドアは右2枚連動で、中央ドアから先に開きます。

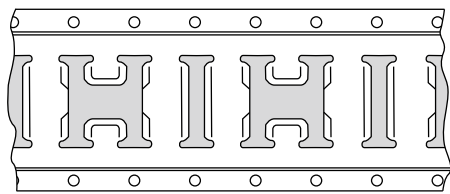
閉め方

- (1) 左ドアから先に閉めます。



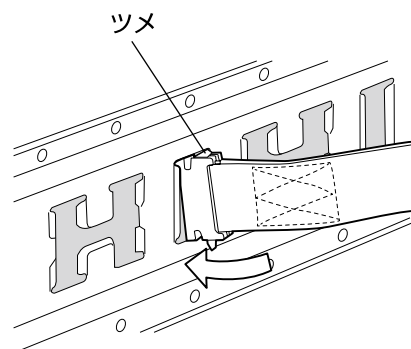
4. 緊締装置について

4.1 ラッシングレール (オプション)



緊締装置の基本システムです。ラッシングベルトやラッシングビームとの併用で、荷物をしっかりと固定できます。

4.2 ラッシングベルト (オプション)



『掛け方』

- (1) ラッシングベルト端部金具のツメを手前に引いて金具の上部をレールにかけ、次に下部をかける。
- (2) 手で数回引いて、外れないことを確認する。

『外し方』

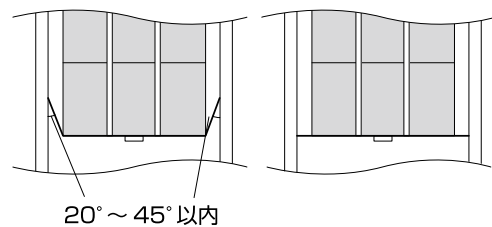
掛ける時の逆の手順で行います。

参考

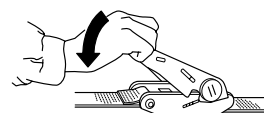
- ラッシングベルト、ラッシングビーム等は積載物です。最大積載量を超えないように注意してください。

注意

- ラッシングベルトは必ず $20^{\circ} \sim 45^{\circ}$ 以内の角度で取付けてください。水平や垂直に近い角度で締め付けると、ラッシングレールやボデーを変形または破損する恐れがあります。
- ラッシングレールにラッシングベルトを掛ける時には、1,960N (200kgf) 以下の力で締め付けてください。それ以上の力で締め付けると、ラッシングレールやボデーを変形または破損する恐れがあります。
- シャープなコーナーには、コーナープロテクターを使ってください。

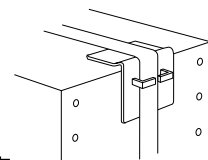


【バックル式】



- 腕の力以上の力でバックルを締め付けしないでください。

【コーナープロテクター】



5. 電装品について

5.1 ランプ類

警告

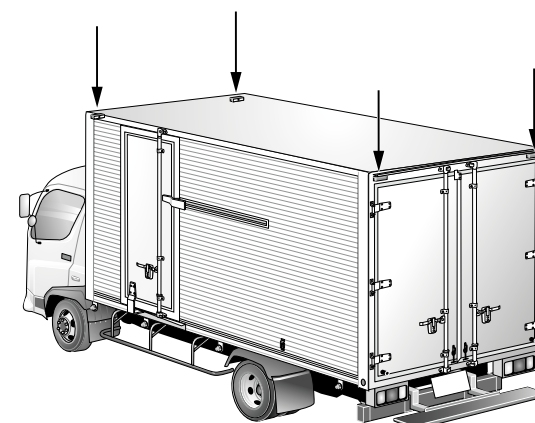
- 電気容量を超過する恐れがありますので、追加配線・灯火器の増設はしないでください。
- 球切れの場合は、ボルト・ワットを確認の上、同容量のものと交換してください。
- ヒューズ切れの場合は原因を調べ、ボルト・アンペアを確認の上、同容量のものと交換してください。

注意

- エンジンが停止した状態で室内灯を長時間使用すると、バッテリー上がりの原因になります。使用後はすみやかに消灯してください。

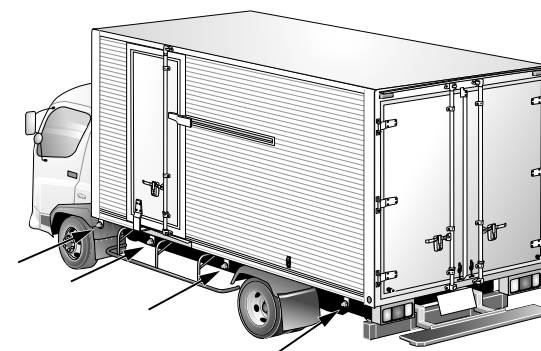
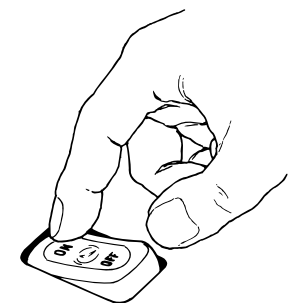
参考

- ランプ類のスイッチの仕様および取付け位置は、車型によって異なります。



●トップマーカールンプ

ライティングスイッチがスモール有的时候、キャブ内スイッチを「ON」にすると点灯します。

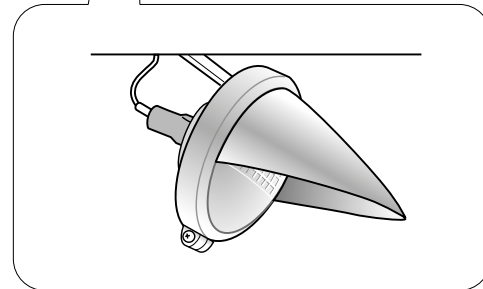
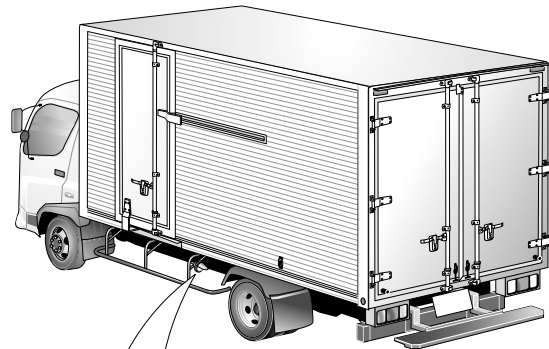


●サイドマーカールンプ

ライティングスイッチがスモール有的时候、キャブ内スイッチを「ON」にすると点灯します。

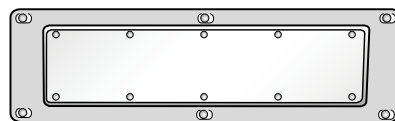
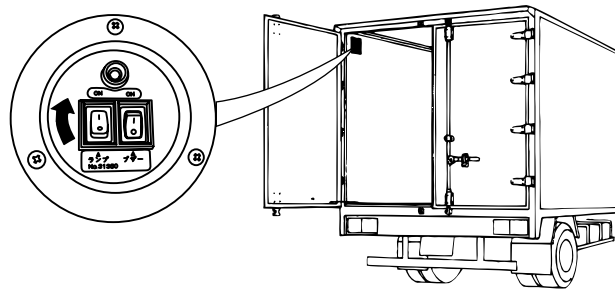
●路肩灯（オプション）

ライティングスイッチがスモールのとき、キャブ内スイッチを「ON」にすると点灯します。



●室内灯

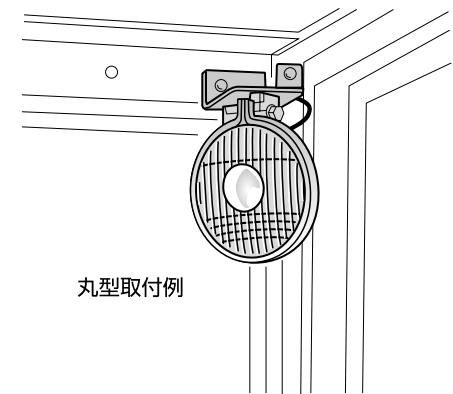
エンジンキーが「ACC」のとき、ボデー内またはキャブ内スイッチを「ON」にすると点灯します。



【LED 灯】

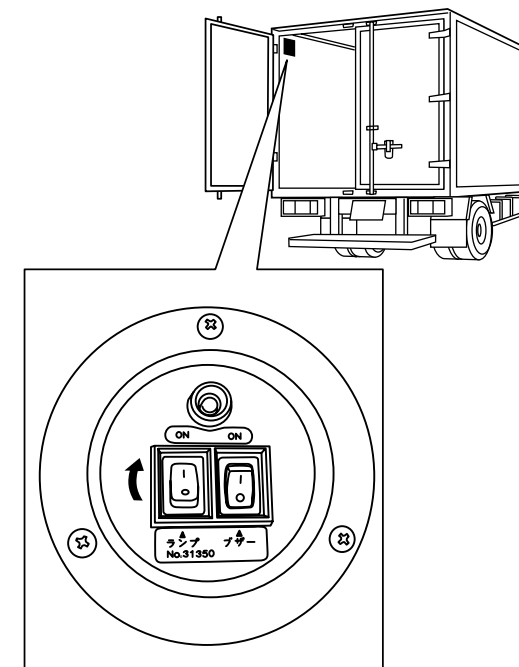
●作業灯（オプション）

ボデー内またはキャブ内スイッチを「ON」にすると点灯します。



5.2 非常警報装置（オプション）

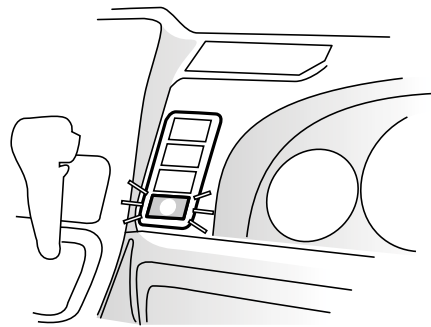
非常警報スイッチは、ボデー内に取り付けられています。万一ボデー内に閉じ込められたとき、このスイッチを「ON」にすると、閉じ込められていることをホーンまたはブザーにより外部に知らせることができます。「OFF」にするとホーンまたはブザーが鳴り止みます。このスイッチはエンジンキーの位置に関係なく作動します。



⚠ 警告

- ホーンまたはブザーが異常に鳴り続けているときは、ボデー内に人が閉じ込められている可能性がありますので、ただちにドアを開け、ボデー内を確認してください。

5.3 ドア開放警告灯 (オプション)



パイロットランプ取付例

エンジンキーが「ACC」または「ON」の位置のときにドアが開いていると、キャブ内のパイロットランプが点灯して知らせます。

⚠ 警告

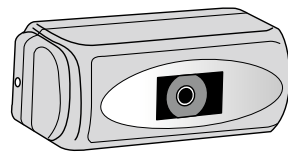
- パイロットランプが点灯しているときは、ただちにドアが開いていないか点検してください。

🔍 参考

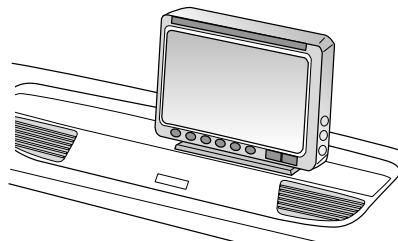
- ランプ類のスイッチの仕様および取付位置は、車型によって異なります。

5.4 バックアイカメラ&モニター (オプション)

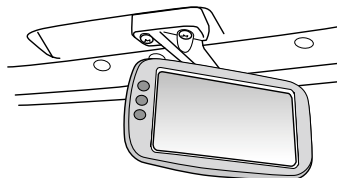
車両後方の様子をモニターに映し、バック時の不安を解消します。詳しくは、バックアイカメラ&モニターの取扱説明書 (別冊) を参照してください。



バックアイカメラ



バックアイモニター
(ダッシュ上部取付例)



バックアイモニター
(バックミラー部取付例)

🔍 参考

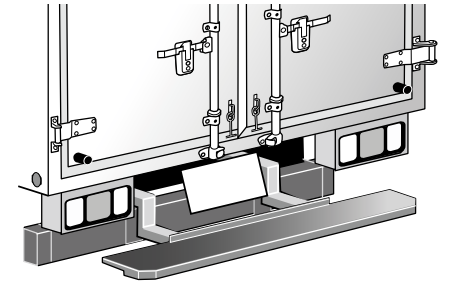
- バックアイカメラ&モニターの形状および取付位置は、仕様・車型によって異なります。

6. 付属品・装備品について

6.1 リヤステップ

⚠ 注意

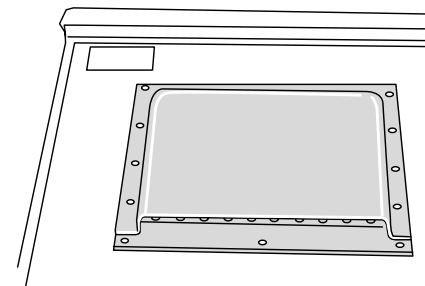
- ステップを足場に使うときは、踏み外しや転落に十分気をつけてください。特に、雨や雪の降っているときは、滑りやすくなっていますので注意してください。



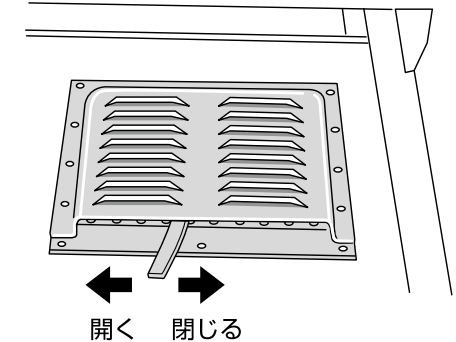
6.2 ベンチレーター (オプション)

荷室内の風通しをよくし、積荷のムレを防ぎます。レバー操作により、開閉が可能です。

前面用カバー付



側面またはリヤドア用



⚠ 注意

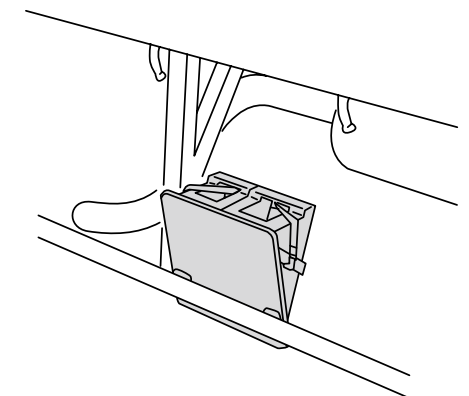
- ベンチレーター部には下から水道ホースなどで直接水をかけないでください。庫内に水が入り、積荷を濡らす恐れがあります。

6.3 車輪止め (オプション)

駐車時にタイヤを固定します。

⚠ 警告

- 車輪止めはパーキングブレーキの補助です。必ずパーキングブレーキと併用してください。



6.4 90° ストッパー（オプション）

リヤドアを 90° に開いた状態と、全開（270°）で固定することができます。

■セルフ式

操作方法

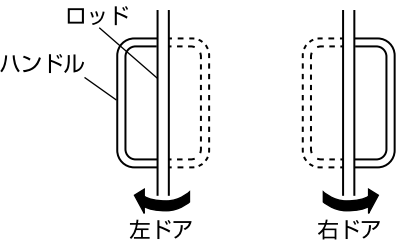
● 90° で固定するとき

左ドアを開く

- ハンドルがロッドに対して左側にあるとき、そのままドアを開けば自動的に 90° で固定される。
- ハンドルがロッドに対して右側にあるとき、ドアを開きぎみにしながらハンドルを回して固定する。

右ドアを開く

- ハンドルとロッドの位置関係は左ドアと逆になる。



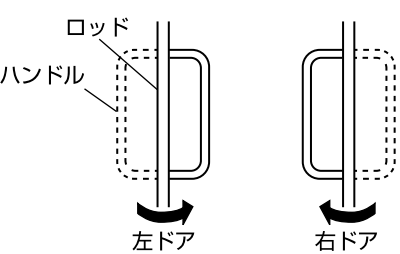
● 90° 固定からドアを閉じるとき

左ドアを閉じる

- ハンドルを右側に回すとフックが持ち上がりロックが解除される。そのままドアを閉じる。

右ドアを開く

- ハンドルの回転方向は左ドアと逆になる。

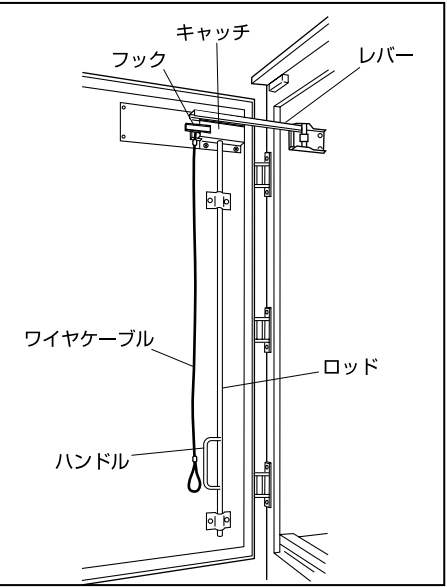


■タキゲン製

操作方法

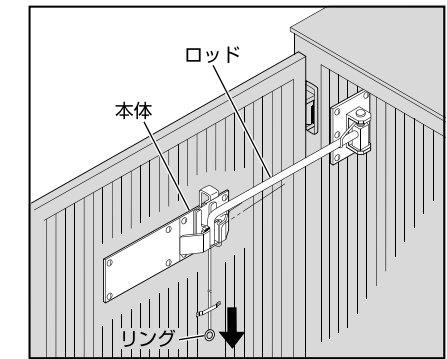
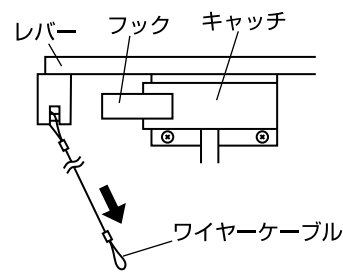
- ドアを 90° 開くと、ロッドが本体に入りロックされる。
- リングを引くとロッドが本体より外れロックが解除される。
- 90° 以上開く場合は、リングを引きながらドアを開ける。

※上記は、タキゲン製 90° ストッパーの説明です。
他メーカー製や仕様が異なる場合には、各部品メーカー発行の取扱説明書をご覧ください。



● 全開（270°）で固定するとき

- ドアを開き、レバー先端がフックに入る手前でワイヤーケーブルを手前に引いてレバーを浮かせながらドアを開く。
- ドアを開いたら、ドアチェッカーで固定する。



7. 点検・手入れについて

7.1 点検・手入れ時の注意

1. 地面が固い平坦な場所で行ってください。
2. 必ずエンジンを止めて、エンジンキーを抜き取っておきます。
3. パーキングブレーキレバーを確実に引き、チェンジレバーはニュートラル位置にします。
4. 必ず車輪止めをします。
5. 適切な工具を使用します。
6. 電気系統の作業をするときは、必ずバッテリーの ⊖ 端子を外しておきます。
7. 火気の近くでは作業しないでください。
8. 運行直後は、エンジン、排気管、ラジエーターなどが高温になっています。直接触れると火傷をする恐れがあります。
9. 屋根の上には絶対に乗らないでください。
10. 作業後、エンジンルーム内や車のまわりに工具などの置き忘れがないか、確認してください。
11. 作業後、各部が正常であるか確認してください。

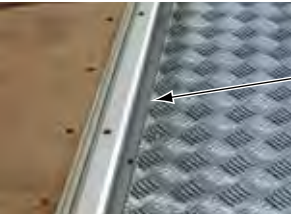
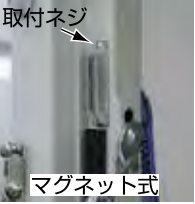
7.2 日常（運行前）点検・定期点検

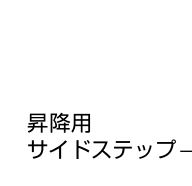
異常は早期に発見し、対処することが大切です。そのためにも日常（運行前）点検、定期点検は重要ですので、必ず実施してください。

点検部位・内容		点検整備時期			
		日常点検	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
ボデー下廻り	燃料タンク、サイドガード、リヤバンパー、タイヤキャリア、U-ボルト、スベリ止めボルトの点検と増し締め	○			
	スペアタイヤ装置の亀裂点検	○			
	火災防止のためのマフラー廻りの点検	○			
	縦根太、横根太との組み合わせ根太ボルトの増し締め		○		
	床下およびフレーム廻りの清掃		○		
	リヤバンパー溶接部の亀裂点検				○
	リヤフェンダー取付ボルトの点検と増し締め				○
	燃料タンクの油漏れ点検				○
	工具箱取付ボルトの点検と増し締め				○
	各種電装品取付ボルトの点検と増し締め				○
ボデー外装	牽引フック取付ボルトの点検と増し締め、溶接部の亀裂点検				○
	根太の変形や亀裂点検		○		
	ボルトやビスの脱落、ゆるみ点検		○		
	リベットのゆるみ点検		○		
ドア	シール剤の亀裂、剥離点検		○		
	パネルの損傷点検		○		
内装	バックインの損傷点検		○		
	ドア金具のガタ、開閉のスムーズさの点検	○			
	床材の割れ、損傷点検		○		
	床上張りの亀裂、損傷点検		○		
電装	内張りの割れ、ビス等のゆるみ点検		○		
	シール剤の亀裂、剥離点検		○		
	灯火関係の正常な点灯	○			
	非常警報装置の正常な作動	○			
各部の給脂	配線系統の干渉、被覆のはがれ		○		
	ターミナルのゆるみ		○		

7.3 定期点検要領

点検項目・部位	点 検 内 容	処 置	点検時期
作動確認 ハネ上げドア	●ドアの開閉操作力は適正か？ （ベルトを引く操作力5kgが目安） 	不良の場合は、ストッパ位置まで上がるようにバランスを調整。	毎 日
	●ドア開閉ハンドル操作力は適正か？  	カムとキーパーの当たりを調整。	
作動確認 ドアストッパ （自動式）	●ストッパピンが確実に穴に差し込まれているか？ ●ピンが磨耗していないか？   	不良のものは一体で新品に交換。	

点検項目・部位	点 検 内 容	処 置	点検時期
作動確認 アオリ	●アオリの開閉操作力は適正か？ （ストッパを外しても自重で勝手に開かない） 	不良のものは、自重で開かないようにバランスを調整。	毎 日
	●アオリストッパが機能しているか？   	不良のものは新品に交換。	
	●アオリ回転部の動作に問題はないか？	アオリ回転部分に異物が挟まっていたら清掃。	
	●機能・取付状態に問題はないか？ 	不良のものは新品に交換。 取付部分がグラついているものは増し締め。	
作動確認 昇降用ステップ ※オプション	●ステップ引出し時および格納時に、シャフト部等にゆるみやガタはないか？  	不良のものは新品に交換。	

点検項目・部位	点 検 内 容	処 置	点検時期
作動確認 台車格納庫 ※オプション	●台車ストッパは確実に作動するか？  落とし錠式  スプリング式  貨車式  ベルト式	不良のものは新品に交換。	毎日
変 形 側面吊り下げ棚 ※オプション	●各部および取付部の変形の有無をみる。 	軽微なものは修正。 不良のものは修理。	3ヶ月
変 形 アオリ両端 安全ゴム チェーン掛金 室内灯 昇降用 サイドステップ	●各部および取付部の変形の有無をみる。  チェーン  両端ゴム  作業灯(オプション)  室内灯  昇降用 サイドステップ	軽微なものは修正。 不良のものは修理。	

点検項目・部位	点 検 内 容	処 置	点検時期
ボルトの緩み ドア関係 ・ヒンジ ・ストッパ アオリ関係 ・バランサー ・ヒンジ ・ストッパ(内外)	●各部品の固定用ボルトに緩みがないか確認する。  	緩んでいるものは増し締め。	1ヶ月
ボルトの緩み 昇降用ステップ ・本体 ・シャフト 台車格納庫 ・本体 ・ストッパ ※オプション	●各部品の固定用ボルトに緩みがないか確認する。  	緩んでいるものは増し締め。	
グリース給脂 ドアストッパ	●各部に異音等がないか確認する。 	油切れの場合はスプレーグリースを塗布。	3ヶ月
グリース給脂 昇降用ステップ ステア ※オプション	●各部に異音等がないか確認する。 引出しおよび開きがスムーズに行えるか？ 	油切れの場合はスプレーグリースを塗布。	

7.4 法定点検

車両の点検整備は法律により義務付けられています。下記に本取扱説明書に関する点検箇所を示します。
その他、車両側の点検箇所もありますので合わせて実施して下さい。
また、点検の結果、異常が見つかった場合、必ず整備を実施して下さい。

点検箇所	点検項目
ボデーマウント ・Uボルト ・滑り止め ・対向ブラケット	変形、損傷、取付部の緩み、がた
サイドガード	変形、損傷、取付部の緩み、がた
リヤフェンダー	変形、損傷、取付部の緩み、がた
リヤバンパ	変形、損傷、取付部の緩み、がた
灯火器類	点灯、変形、損傷、取付部の緩み、がた
燃料タンク	漏れ、変形、損傷、取付部の緩み、がた

7.5 ランプの交換

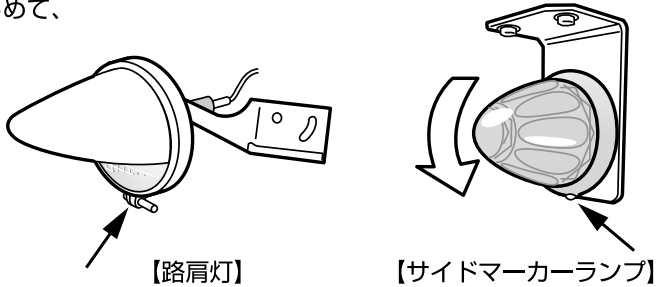
⚠ 注意

- バルブ（電球）は必ず規定のものを使用してください。規定以外のものを使用すると、火災の原因となります。
- ランプが不灯のまま走行すると、思わぬ事故の原因となります。
- バルブの交換を行うときは、必ずエンジンキーを抜き、各スイッチを「OFF」にしてから行ってください。



●路肩灯、サイドマーカーランプ

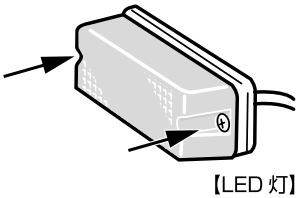
ランプの締め付けバンドのネジをゆるめて、電球やレンズを交換します。



●トップマーカーランプ

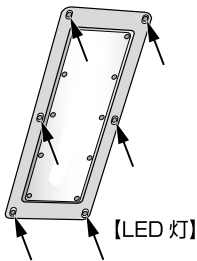
🔍 参考

- トップマーカーランプは一体（アセンブリ）交換となります



●室内灯

取付けているネジを外して、LED を交換します。



●交換バルブの仕様

名 称	容 量（24V）	容 量（12V）
路肩灯	24V - 35W	12V - 35W
サイドマーカーランプ	24V - 6W	12V - 5W
トップマーカーランプ	24V - 1.2W（LED）〔12V兼用〕	
室内灯(LED)	24V - 6.0W	12V - 5.4W
作業灯	24V - 35W	12V - 23W
サイドフラッシャー	24V - 6W×2	12V - 6W×2

※上記のバルブワット数は標準仕様の場合を示します。お客様の個別使用により、ワット数が異なる場合があります。

⚠ 注意

- バルブ（電球）は必ず規定のものを使用してください。規定以外のものを使用すると、火災の原因となります。
- バルブの交換を行うときは、必ずエンジンキーを抜き、各スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

7.6 消耗品

次の部品は使用頻度・経時変化などにより、消耗・劣化する部品です。
点検時に磨耗や損傷の状態を見て、早めに交換してください。

- 各部締結ピン・シート類
- 泥除けゴム
- 各部のガスケット・スプリング・グリース・オイル・バルブ・ヒューズ類

7.7 定期交換部品

次の部品は定期的に変換して性能と機能を維持し、安全・快調な状態でご使用ください。

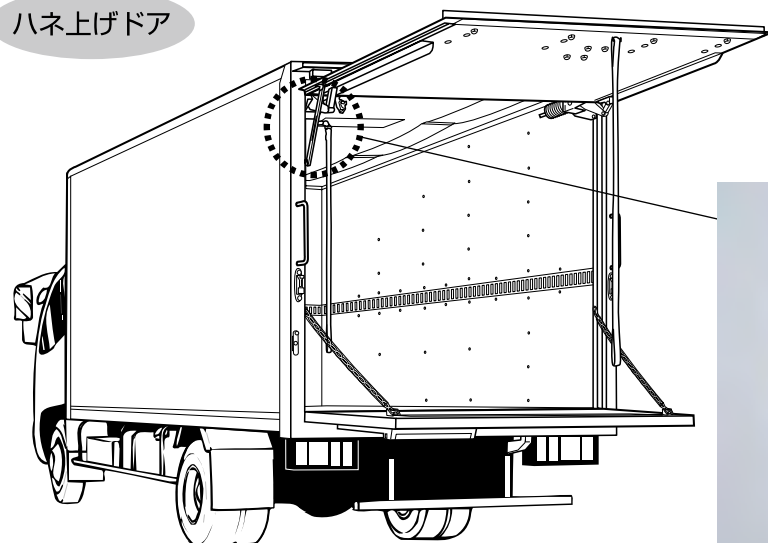
- ドアガスケット類（1年ごとに交換）

7.8 各部の給脂

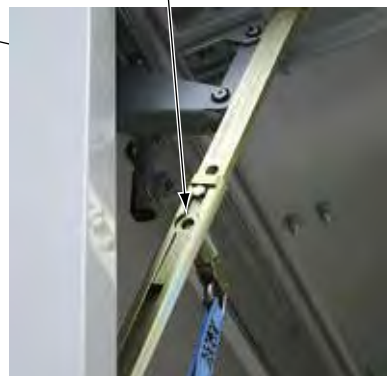
グリース給脂は3ヶ月毎に実施してください。
グリースは、下図の回転部、摺動部に給脂してください。



ハネ上げドア

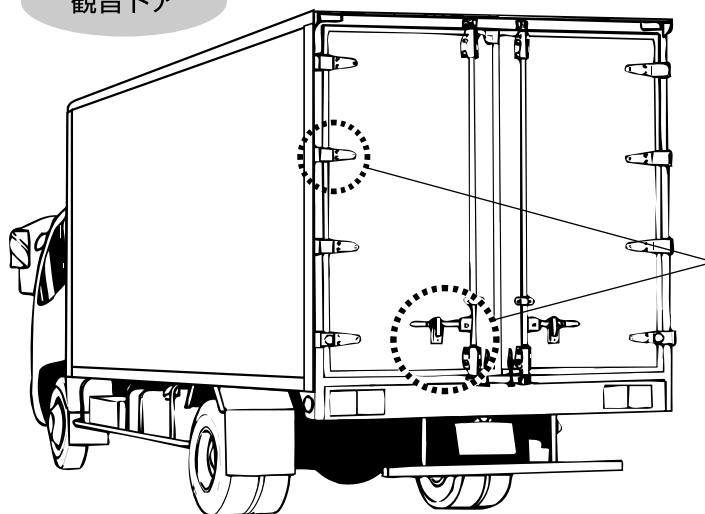


スプレーグリース

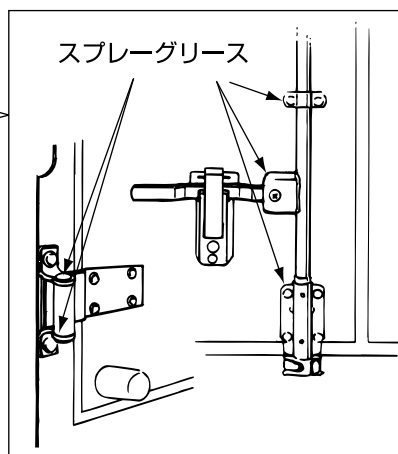


ドアストッパ

観音ドア



スプレーグリース



観音ドアのヒンジ、ロック

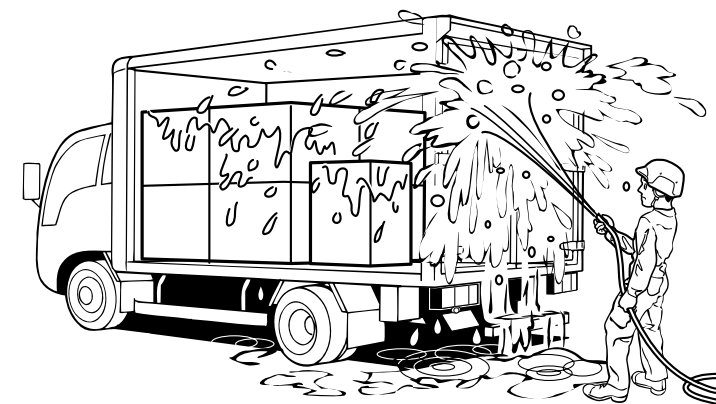
7.9 車の手入れ

●ボデー外板の手入れ

1. 水洗いします。
2. 汚れのひどいときは中性洗剤を使用します。
3. やわらかい布で汚れを洗い落とします。
4. 外板にはん点が残らないよう水を拭き取ります。

●庫内の手入れ

1. ほうき等で清掃します。
2. 水拭き、カラ拭き、モップ掛け等を行い、いつも清潔にしておきましょう。



⚠ 注意

- 洗車は、荷物を積んでいないときに行ってください。水圧によってボデー内に水が浸入し、積荷が濡れる恐れがあります。
- 室内の水洗いは行わないでください。コープバンは高い水密性を有していますので、室内の水洗いをを行うと、水が溜まり、錆、木材の反りがおきます。

⚠ 注意

- ガasketによる防水処理部（ドア周り、アオリ周り）を高圧で洗車することを禁止します。

※ 2005 年 1 月 1 日から施行された自動車リサイクル法によって、乗用車、商用車（キャブ付シャシ）がリサイクル法の対象になりました。弊社の主力製品であります、アルミバン、ウイングボデー、サンドイッチパネルバン等は、リサイクル法の対象外ではありますが、弊社は架装物のリサイクルに対して積極的に取り組んでおります。

- ◆（一社）日本自動車車体工業会「新環境基準適合」トラックの架装物は、（一社）日本自動車車体工業会の定める環境基準に適合した製品です。

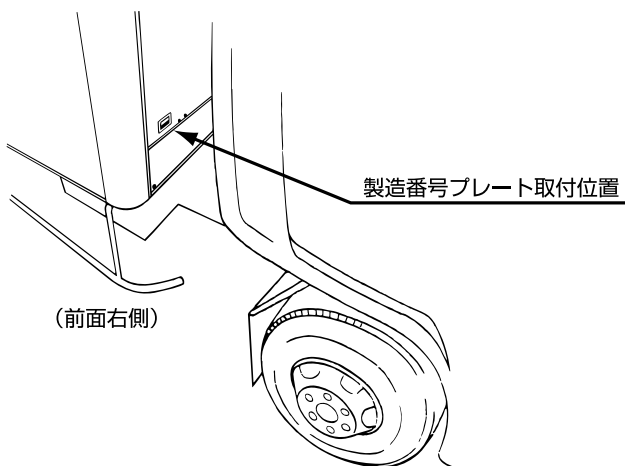


「新環境基準適合マーク」

◆解体マニュアル

弊社製トラック架装物の解体マニュアルは、弊社ホームページにて公開しております。

URL <https://www.pabco.co.jp/aboutus/recycle/>



製造番号プレート

BODY No.
株式会社 パブコ

修理および部品をご用命のときは、
こちらの番号をお知らせください。

（製造番号表示例）

23-6G1234
23-6X4567

何でもご相談は・・・

製造番号をお確かめのうえ、最寄りの販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

——— 不具合に関する詳しい情報をお知らせください。 ———

株式会社パブコ お問い合わせ窓口

住 所 〒 243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷 456 番地

TEL : 046(233)3191 FAX : 046(235)7964